

音楽ディレクターである福山氏が、京都学生人口約30万人の中から「京都版モーニング娘。」を作り上げる事を目指した本企画。既に15冊を連載し、両面では本コーナーにスカウトアップされることが、デビューへの登壇とされていると評判。

Vol.16



アイドル発掘

リサーチんぐ娘。

ミンミンと囁く舞にさえ憎悪を描きなくなる残暑の中、「表にメツチャかわいい娘いましたよっ！」とスタッフの声。ただでさえ暑いのにオトコガ叫びと不快指数は120%増…。そこへやってきたのは今回のリサーチんぐ娘。「麗衣ちゃん」。その立ち振る舞いは砂漠と化した編集部へ湧き出た泉のごとく、不快指数もマイナス急降下！とは過剰表現だけどそれほど輝線が発していたのであります…。

容姿端麗、所作壮麗 デビューはもう目捷の間

編集長：今回の娘。ものすごくタイプやったわ〜。ト真中にズバツキたね (笑)

福山：だと思いましたよ〜。テンションが違うじゃないですか！

fb：ホントにアイドルの素質アリって感じてましたよね。

福山：そう！僕らの求めている「妹系」とは路線が違うけど、いいねあの娘は、本人も芸能界、特に女優に興味あるって言うてたし。写真集なんかも出したってね。

編集長：そやな、雰囲気は「妹系」じゃなくて「お姉系」に近いんやけど、まだどこか幼さが残ってて、そこがまた良いねん。

fb：趣味も「放課後」にACE cafeの窓際ラグソファでロイヤルミルクティを飲むコトって、高校生とは思えない遊び方ですよええ。

編集長：いや、それが今の女子高生のステイタスシンボルやねん。不釣合いはあるやろけど、実際、麗衣ちゃんがACEにおっても絵になるやろ。あの娘は所作のひとつひとつからして流美やったし、11年間バレエ習ってたまものつのもあるやろけど。

福山：精神年齢が高いというか、街で見かける標準的な娘と違って決して背伸びしてないんですね。そこが持って生まれた麗質なんですよええ。

編集長：で、家庭的なところがあるやん、料理ができるとか、台所でエプロンをキュッと締めて、おやつ代わりに自分で皮付きポテト揚げちゃう姿、ええなあ。もひとつプラスすると好きな食べ物「加茂茄子」。この京都っぽさがしばらく見ないアイドルとちゃうか？

fb：う〜ん…それはどうなんでしょう (笑)

編集長：もう、どうにかしてデビューして欲しいわ、ホンマに！

福山：今回はなんだか誓殺してしたねえ (笑)



Entry. 0020

大塚 麗衣

おおつか れい

1986.8.4生まれの16歳

身長156cm B82.W57.H84

家では、浜崎あゆみ、プリティー・スピアーズを聴くけどカラオケの十八番は中森明菜。このギャップに、しつこすぎるほど編集長大絶賛。こりゃグラビアデビューも近いかも？

「アイドル発掘☆リサーチんぐ娘。」では現在、うら若きアイドルの卵を大募集！ 自撮り・他撮りもOK。興味のある方はdji@m21.or.jpまでどしどし写メールをお送り下さい。

現在「リサーチんぐ娘」のIP制作中。IPでしか見られないPOTO掲載。著作権者による特別企画も予定！ 要チェック！

おちよぼ

週末限定！京都に潜む野鳥の王国

It's a world ver.

アカデミック・シティ京都に隣り合わせにあるミニマム博物館を標榜した京都チャンネル「It's Small World」を、京都CF1が徹底検証する知約数値コーナー！



アシヤカキツバタなどが群生する池のほとりから眺めた野鳥。普段は何人たりとも足を踏み入れられない野鳥の聖域である。

「そっと見守る」が正しい 桂坂に集う野鳥とのひと時

桂坂の山裾に広がる「桂坂野鳥遊園」。敷地面積83000坪の広大な自然公園は、木々の緑に囲まれ、絶えず小鳥たちのさえずりが響き渡るヒーリングスポットだ。その誕生は平成3年、当時新興住宅地として発展途上だった桂坂エリアの「自然との共生」を謳う人工的スポットに過ぎなかったが、今では植樹した木々も大きく育ち、自然味溢れる姿に生まれ変わっている。入園門をくぐって間もなく現れる「観鳥楼」は、池を取り巻く「サンクチュアリゾーン」を見渡せる建物。カワセミやアイガモなどの水鳥が戯れる姿や、食事シーンを観察できるバードウォッチングスペースで、今までに確認された野鳥の数は92種類にも上る。その後ろにそびえる山には約40分で一周できる散策路があり、野鳥のみならず運が良ければ？イノシシ、シカ、サルなどの「野生の住人」に遭遇することも。ココは檻の中を眺める動物園でもなければ、花壇の中に植えられた草花を愛でる植物園でもない。あくまでも動植物が主役で、その中へ人間が「ちょっとお邪魔する」感覚が一番ふさわしいネーチャーワールドなのだ。



●桂坂野鳥遊園

かつらさかやちょうゆうえん

■京都市西京区大塚北町御所1丁目3-1

☎075-333-4651 (ふれあい会館)

10:00〜17:00/月〜金・休

土日のみ開放される遊園は入園無料。毎年6月に行われる清流で育った空の雛見会は、大人も子供も一緒に体験できない夏の風物詩



クヌギやコナラなどの鳥たちが好む木々には巣箱が掛けられている。シジュウカラやヤマカワ、メシロが子育てに動かしなまもほほほ



観鳥楼の窓辺から双筒鏡を使って鳥たちの生態を知ることができる。求愛や果しちなどの稀少なシーンを目撃できることもあるのだとか



知るほどにありつける 領域の「京知識」 小出し図鑑

指 コレ、知っ得？

スルメな京、知恵袋

表記は漢字とカタカナの2パターン。現在では、立命館キャンパス東側の電柱に敬本、ひっそりとその球場名が残るのみ

幻のプロ球団が存在した!? おぼろげな京の記憶

場末の情報筋によれば、ホントに松竹ロビンス球団は存在したそうなん。しかもセ・リーグ設立初年度のオマケ付き。その最盛期を迎えた昭和25年頃、衣笠山の土手を観客席に多くのファンが駆けつけた。とかんとかん…



キッカケは「衣笠球場ってのがあったらいい〜」ってな酒場でのハナシ。何じゃそりやと思ったが最後、ナゾはほっとけない性ゆえ、速攻リサーチ。地元ネタは地元民に聞くのが手取り早い、ならば衣笠へ。と、〇〇生命の営業マンよろしく、そこいらの民家へ強引に飛び込みセールスならぬ聞き込み開始。で、数軒目。角地の留蔵さん(仮名・推定85歳)を尋ねれば「ホレ、電柱見てみい」。電柱に「衣笠球場」の四文字。ホントにあったよ衣笠球場。なんでも電柱は球場と民家のちょうど境だったらしい。留蔵さん曰く「終戦後に衣笠球場ができてな、一時期は松竹ロビンスってプロ野球球団があつてん、今は立命館大学になってしまつたけどな」と事情通っぽりを披露。土地略歴は馬場場→衣笠球場(立命館の施設として登場)→衣笠キャンパス。が、最後に一言「まあ50年も前のことやし記憶は曖昧やけどな」。ねえ留蔵さん、球場の存在は確かだけどプロ野球チームはホントにあったんですか？